

第24回定期委員会開催される



国労東日本運転協議会第24回定期委員会が、10月11日新橋・生涯学習会館で開催されました。当日は、東日本管内九地本23名が集い、一年間の運動の総括とともに今後一年間の運動方針を確立してきました。

定期委員会の座長として、東京地本横浜支社国府津車両センターの本間さんにお願いました。

本間さんから、「私は10月1日から会社施策により出向させられました。今施策は会社も認めるように駆け足で既成事実のように作られた検修業務の丸投げであり、現在職場では問題が山積しています。今日一日検修外注化の議論になるかと思われませんが、ご協力をお願いします」と挨拶されました。



木立議長から開口一番「検修・構内外注化の修正撤回をさらに強く求めるものです」と強い決意を述べ、一年間のこれまでの経過の報告と、昨年7月に乗務員勤務に関する団体交渉を基に、現在進められている「乗務員勤務のQ&A」の発行を今年度には考えているとの報告がされました。同時に規制緩和による安全問題にふれ、「事故発生主義から防止主義に転換させよう」と力強い挨拶がされました。

続いて国労東日本本部松井書記長から、今回の検修外注化の問題点が各地方から出されています。今後の外注会社に於ける交渉については労使間の協約の中にちゃんとはめ込んで行っていきたい。また、今年からスタートした「人事・賃金制度」について、国労の仲間の中にも特別昇給(500円)をもらっている方も多くいる中で、今後職場でしっかりと調査を行い会社に対しても事実を基に迫っていきたい。



続いて工作協議会議長の小野さんから今回の検修外注化について、10月1日を待つ間もなく9月中旬には事前発令がされ、現場では現場長への抗議行動や苦情処理などでの闘いを各地方で取り組んでいる実態が報告されました。

現在職場での実態を調査・点検を行っている。今後この調査・点検をまとめて要求に変えて見直し交渉を考えている。

運転協議会と手を携えて今施策の見直しをさせ、撤回にまで追い込んでいきたい。と、職場の実態が生々しく話され、共に闘う決意も頂きました。



来賓からのあいさつの後、木立議長から経過・方針が述べられ、休憩を一旦取り各地方からの報告を頂きました。

仙台からの報告

・外注化提案を事もあろうか電話で提案してきた。・作業が倍以上の仕事量となってきた。・来年には

各分会からの問題点を集約していきたい。・労働協約に関しては慎重に各分会で議論させてほしい。

秋田からの報告

9月の最後になって引っ越しをした。・流しが無くなりリビングもなくなった。・現在ダイヤ乱れなどが無いので、問題は生じていないので見ている状態

盛岡からの報告

・一ノ関で、家庭の事情で泊まり勤務が出来ない人が出向発令と同時に泊まり勤務となった。・職場の見直し要求を現在まとめているところである。

高崎からの報告

・国労・建交労・東労と三者で「偽装請負」の勉強会を開催した。・職場の問題点を要求に変えて、見直し交渉へと現在取り組んでいる。

水戸からの報告

・解明交渉3回・基本交渉2回に渡って行ってきた。・労働条件が大幅に下回っている。・元車掌だった人が作業責任者として転入している。・用品倉庫の関係で言えば、本体にいる方が毎日起勤。・作業服のサイズが合わず、JRのものを使用している。

千葉からの報告

・支社提案よりも多くの方が出向に出された。・特休の関係で最も多い人で4日の方がいて平均2日の買い上げとなっている。・制服を綿のものに変えてほしい。・10月1日千葉動労がストライキを行い支社から応援体制をとった。これは明らかに偽装請負では

長野からの報告

・会社はプロパーを育てる気が全く見られない。・全てにおいて準備不足であり、会社の姿勢を問いたい。・長野工場で技術継承の問題で出向が解けた。・直営最後の日の点呼で所長から挨拶をしてくれと言われ10分間挨拶をした。・外注会社の労働者がパートとなり1時間750円の賃金、社会保障無くなり国民健康保険に加入させられている。・プロパー賃金14万～18万の賃金で働いており5年が限界と言われており、昼食も食べない人もいる。・若い人の中には制服に違和感を持っている。・JR社員と委託会社に出向させられた方たちの中で、ごこちない状況が生まれている。

東京からの報告

・現在職場での問題点を集約しながら見直し交渉を行うように考えている。・職場での問題点は小さいことから多く聞かれるので、この問題を要求に変えていくように早急に意思統一し、点検・調査を強化していきたい。・交渉で積み残しの部分について27日に回答があった。(半休の整理について＝半休制度がある委託会社であれば引きつげるが、無ければ失効する。永年勤続表彰に於けるリフレッシュ休暇2日について＝年休を申し込んでいただければ年休で処理するように委託会社に話してある。保存休暇について＝委託会社に保存休暇制度がなければ執行することは出来ない。)

などと、私達が指摘してきたとおりの10月1日以降の実態が各地方から報告されました。

各地方からの報告を基に議長から「①見直し交渉の準備をしていく②これ以上の提案をさせないための調査を強めていきたい」と力強く訴えられお互いに意思統一をはかりました。

最後に新議長の長谷川さんの音頭で「団結ガンバロー」で閉会しました。

新役員

議長	東京	長谷川 秀夫			
副議長	秋田	須田 政博	副議長	長野	坂本 保
	盛岡	佐藤 英雄		水戸	菊池 輝雄
	仙台	三塚 昇		千葉	宇井 太
	高崎	清水 輝夫		東京	安濃 敏雄
	新潟	本多 勝利			
事務長	東京	保科 誠司			
会計監査	東京	緑川 浩			



左から保科新事務長・長谷川新議長
・木立前議長(お疲れさまでした)

木立議長ご苦勞様でした。
これからも元気に頑張りましょう

